



➔ 団地再生における地域関係者と連携した地域の医療・福祉等の拠点づくり

○ UR団地を「地域の資源」として活用するため、地域関係者と連携・協力を図りながら、医療福祉施設の誘致等を行っている事例

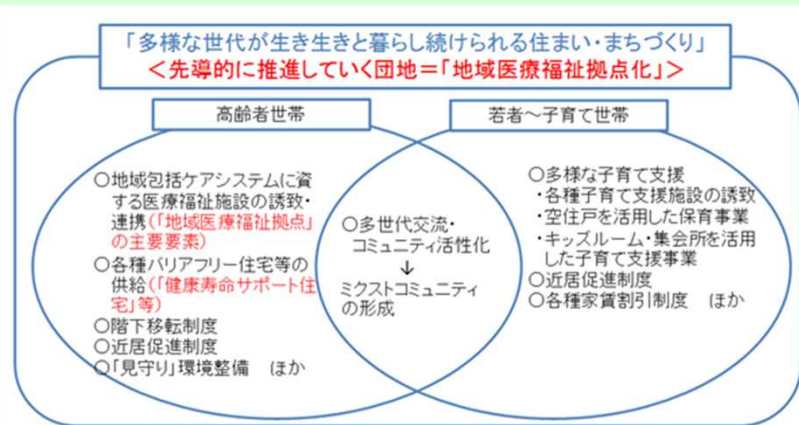
[豊四季台団地（千葉県柏市）、多摩平団地（東京都日野市）]

● UR賃貸住宅団地の地域医療福祉拠点化

団地を含む地域一体で、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちの実現を目指すもの

＜主な取組＞

- 地域における医療福祉施設等の充実の推進
- 高齢者等の多様な世代に対応したバリアフリー等の居住環境の整備推進
- 若者世帯・子育て世帯等を含むミクストコミュニティ形成の推進



● 豊四季台団地の取組

- 柏市や東京大学高齢社会総合研究機構と連携し、柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会を設立
- 「いつまでも自宅で生活が送れるまち」「いつまでも元気で活躍できるまち」の実現を目指す
- 要介護状態になっても在宅生活を継続できるようにするための「住まい」と、様々な「通い・泊まり・訪問」のサービスとを併設した拠点型サービス付き高齢者向け住宅を開設

● 多摩平団地の取組

- 自治会、日野市及びUR都市機構の三者により、団地再生事業で生み出された整備敷地を活用した総合的なまちづくりに関する基本協定を締結
- 多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち（ミクストコミュニティ）の実現を目指し、
  - 多様な世代の居住促進（バリアフリー住宅の供給等）
  - 暮らしやすい住環境の整備（宅配サービスの実施等）
  - 健康増進、介護予防の推進（外出機会の創出等）等を実施